

第6学年 国語学習モデル指導案

1. 単元名 「表現を選んで伝える」

2. 本時について

(1) 本時の目標

○話し言葉と書き言葉の違いについて、気づくことができる。

(2) 本時の展開(最後の10分の展開)

分	学習活動	発言例
1		T: 次のマンガを読んで、表現の受け取り方の違いについて考えてみましょう。
	☆ワークシート「あなたならどう受け取る？」(マンガ資料)を配付し、書き手の意図と受け取り方の違いについて整理する。	
5	● 伝えなかった意味と受け取った意味について、個々に考えたことを記入し、クラス全体で考えたことを発表する。	T: 二人は、どんな意味で言葉を使ったり受け取ったりしていたのでしょうか。 C: ようこさんは「おもしろい」って意味で「おかしい」という言葉を使ったけど、ゆたかさんは「変だ」という意味で受け取ったんだね。 …など。
7	● マンガと同じような経験がないかを自分事として考え、どう気を付けたらよいのかについても考える。	T: みなさんも、マンガのような経験はありませんか。また、誤解を生まないためには、どうしたらよいのでしょうか。 C: 僕も「何考えているの？」とメールがきて、けんかになったことがある。 C: 短い書き言葉は、冷静になって相手の気持ちを聞き返すことも必要だよな。 C: 間違っって伝わることに注意して、言葉を使わないといけない。 C: すぐ感情的にならず、冷静になって聞き返すことも必要だよ。 T: 書き言葉は、表情などのメッセージが伝わりにくいことがありますね。
9	☆キャリアの宝につながる解説(児童への落とし込み)をする。	
	SNS などによって手軽にメッセージを送ることができますが、その一方で、今回のような行き違いもおきやすくなっています。危険だから避けるだけでなく、 自分の意思を正確に伝えられるよう、また相手の意思をきちんと受け止められるように、表現の工夫をしていきましょう。書き言葉と話し言葉の違いを意識することも、大切ですね。	